

公開講演会

京都の祭り — 祇園祭に学ぶ —

2018年

7月15日(日)

14:00~15:00

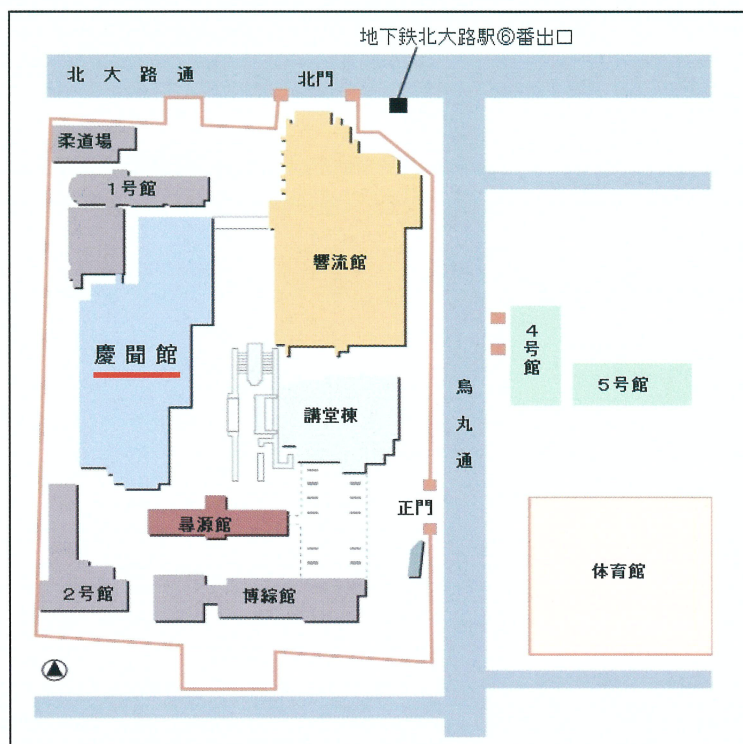
※13:30開場

※入場無料・事前申込不要

※終了後、慶間館見学会を行います

講師 東館 しょうけん 紹見 大谷大学教授
 定員 200名
 会場 大谷大学 慶間館 K101教室

※当日はオープンキャンパスを開催しています



【講師プロフィール】

日本仏教史 (古代・中世)
 1963年 岩手県生
 1994年 大谷大学大学院
 博士課程満期退学
 2000年 大谷大学講師
 2008年 大谷大学准教授
 2014年 大谷大学教授
 (現在に至る)
 2018年4月 大谷大学図書館長

【著書・論文】

『蓮如・人と教えー『蓮如上人御一代記聞書』に学ぶー』(共著)
 『日本の名僧5 浄土の聖者 空也』(共著)
 「平安初期における法華講会の展開」
 「古代中世移行期における法華一乗思想の展開とその歴史的意義」
 「円仁の入唐求法と法会の始修ー九世紀天台宗における法会催行とその歴史的意義ー」
 「親鸞における聖徳太子観ー六角堂参籠時を中心にー」

講演概要

私たちが住むまち京都は、現在に至るまで、多くの人々が活発に活動し、人と出会い、育まれた地でした。

1000年以上の歴史を持ち、現在もなお世界に冠たる祭として盛んに行われている祇園祭も、そうした人々の活動と出会いによって育まれ、また人を育んできた祭でした。

この度は、祇園祭の起こりと展開、そしてそこにどのような人間の出会いがあったのかについて、たずねてみたいと思います。



主催：大谷大学 大谷大学同窓会京都支部
 お問い合わせ：(株)福永念珠舗内 京都支部事務局
 担当：福永 TEL 075-343-0541